

宮城県感染症発生動向調査情報

平成31年3月7日発行

— 2019.2.25～2019.3.3 — 第9週 —

1. 集計

上段は患者発生数, 下段は定点当たり

疾 病	保 健 所							仙台市 患者数	宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第6週	第7週	第8週	第9週
水痘		5 0.50	1 0.20				2 0.40	8 0.30	16 0.27	321	○	レ	○	レ
流行性耳下腺炎		1 0.10		1 0.50				4 0.15	6 0.10	34				
感染性胃腸炎	43 8.60	58 5.80	7 1.40	22 11.00	11 3.67	35 7.00	2 1.00	203 7.52	381 6.46	2,629	◎	◎	◎	◎
手足口病		2 0.20							2 0.03	62				
伝染性紅斑	3 0.60	19 1.90	3 0.60		4 1.33	15 3.00	6 3.00	22 0.81	72 1.22	1,561	◎	◎	◎	◎
突発性発しん	2 0.40	3 0.30	4 0.80	1 0.50	2 0.67	6 1.20	2 1.00	9 0.33	29 0.49	190	○	レ	○	○
ヘルパンギーナ		1 0.10						1 0.04	2 0.03	6				
インフルエンザ	161 20.13	80 5.33	120 15.00	17 5.67	49 9.80	129 16.13	23 5.75	279 6.34	858 9.03	26,798	◎	◎	◎	◎
咽頭結膜熱	2 0.40	1 0.10		3 1.50		2 0.40		6 0.22	14 0.24	125				
流行性角結膜炎		2 0.67							2 0.17	27				
急性出血性結膜炎			1 1.00						1 0.08	2				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	52 10.40	38 3.80	16 3.20	5 2.50		81 16.20	1 0.50	49 1.81	242 4.10	1,677	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	0				
無菌性髄膜炎									0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎				1 1.00		1 1.00	2 2.00		4 0.33	45				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	2 0.40	3 0.30	3 0.60			2 0.40		14 0.52	24 0.41	232	レ	○	レ	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	1				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	1							3					
	川崎病	2							1					
	不明発しん症								1					

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について、今後の情報に留意
レ: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 13例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))

仙南管内 女性1名
大崎管内 男性1名
仙台管内 男性1名、女性2名
結核(無症状病原体保有者)
塩釜管内 男性1名
仙台管内 女児1名*

3類感染症: 報告なし

4類感染症: 報告なし

5類感染症: アメーバ赤痢

仙台管内 男性1名
ウイルス性肝炎
仙台管内 女性1名(B型)
カルバペネム耐性腸内細菌感染症
仙台管内 男性1名(*Enterobacter aerogenes*)
急性脳炎
大崎管内 男性1名(第6週)、男児1名(第7週)*
劇症型溶血性レンサ球菌感染症
仙台管内 女性1名
侵襲性肺炎球菌感染症
大崎管内 女性1名(第7週)
百日咳
仙台管内 男性1名、男性1名(第8週)、
女性1名(第4週)

※男児、女児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[伝染性紅斑]
塩釜、登米、石巻、気仙沼管内で警報レベルを継続中です。
[インフルエンザ]
仙南、大崎、石巻管内で警報レベルを継続中です。
[急性出血性結膜炎]
大崎管内で警報レベルを超えました。
[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]
仙南、石巻管内で警報レベルを継続中です。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

インフルエンザ患者より
石巻管内 第8週採取分 インフルエンザウイルスAH3 1件
第8週採取分 インフルエンザウイルスAH1pdm09 1件
大崎管内 第8週採取分 インフルエンザウイルスAH3 1件
感染性胃腸炎患者より
塩釜管内 第4・5・6週採取分 ノロウイルスGⅡ群 4件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定		
	第6週採取分 (2.4～2.10)	中 間 報 告 第7週採取分 (2.11～2.17)	第8週採取分 (2.18～2.24)
インフルエンザウイルスA(H1)pdm09	3件	0件	0件
インフルエンザウイルスA(H3)★	7件	10件	4件
RSウイルス	0件	0件	1件
サイトメガロウイルス	1件	0件	0件
パラインフルエンザウイルス2型	1件	0件	0件

★インフルエンザウイルスA(H3)は、血球凝集性が非常に低く、型同定が難しい状況です。そのためA(H3)は、第2週検体より、免疫学的にA型が確認され、かつ血球凝集が陰性の検体を、暫定的にA(H3)と報告しています。

4. 今週のコメント

【インフルエンザ】

県内全体の患者報告数は5週連続で減少しましたが、3保健所管内で警報値を超えており、引き続き注意が必要です。帰宅時の手洗いの徹底、咳エチケットの実施、加湿器の使用など、引き続き感染予防に努めましょう。

【麻しん】

今年に入って、国内における患者報告数が増加しており、多くの人が集まるイベントや商業施設での集団感染がテレビ等でも報道されています。今のところ県内における患者報告はありませんが、麻しんは感染力が強いため注意が必要です。発熱を伴う発しんなど麻しんを疑う症状がみられた際には早めの受診を心がけてください。なお、受診の際は医療機関に連絡をしてください。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

